

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月27日	
(あて先) 宇都宮市長 佐藤 栄一 殿	
提出者 王子タック株式会社宇都宮工場 住 所 栃木県宇都宮市平出工業団地27-2 氏 名 取締役工場長 嶋浦雅彦	
電話番号 028-661-5110	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	王子タック株式会社 宇都宮工場
事業場の所在地	栃木県宇都宮市平出工業団地27-2
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	紙・パルプ・紙加工製造業 {1449}
②事業の規模	製造品出荷額 7,269百万円
③従業員数	144名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・別紙2の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) ・別紙3の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	・別紙1の通り	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物分別の徹底 ・収集・運搬・処分業者とのコミュニケーション ・資材（包装紙・紙管）の再利用・有価物への転換		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	・別紙1の通り	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・生産効率の向上 ・産業廃棄物分別の徹底		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ・紙くず・木くず・廃油等区画を明確にし分別を図っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別の徹底実施を行うと共に各従業員における産業廃棄物に対しての意識向上・分別徹底の必要性について積極的に実施する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	・別紙1の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・分別実施継続中 ・収集運搬・処理業者現地視察実施中（各業者1回/2年）		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	・別紙 1 の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 2024年度は生産量について対前年+6%を見込んでおり、それに伴い 廃棄量も+6%を見込む ・ 分別実施の継続 ・ 収集運搬・処理業者現地視察の継続的实施（各業者1回/2年）		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（２０２３年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	紙くず	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）
	排出量	1,000.24t	219.38t	139.72t	0.00t	92.76t	0.00t	0.09t

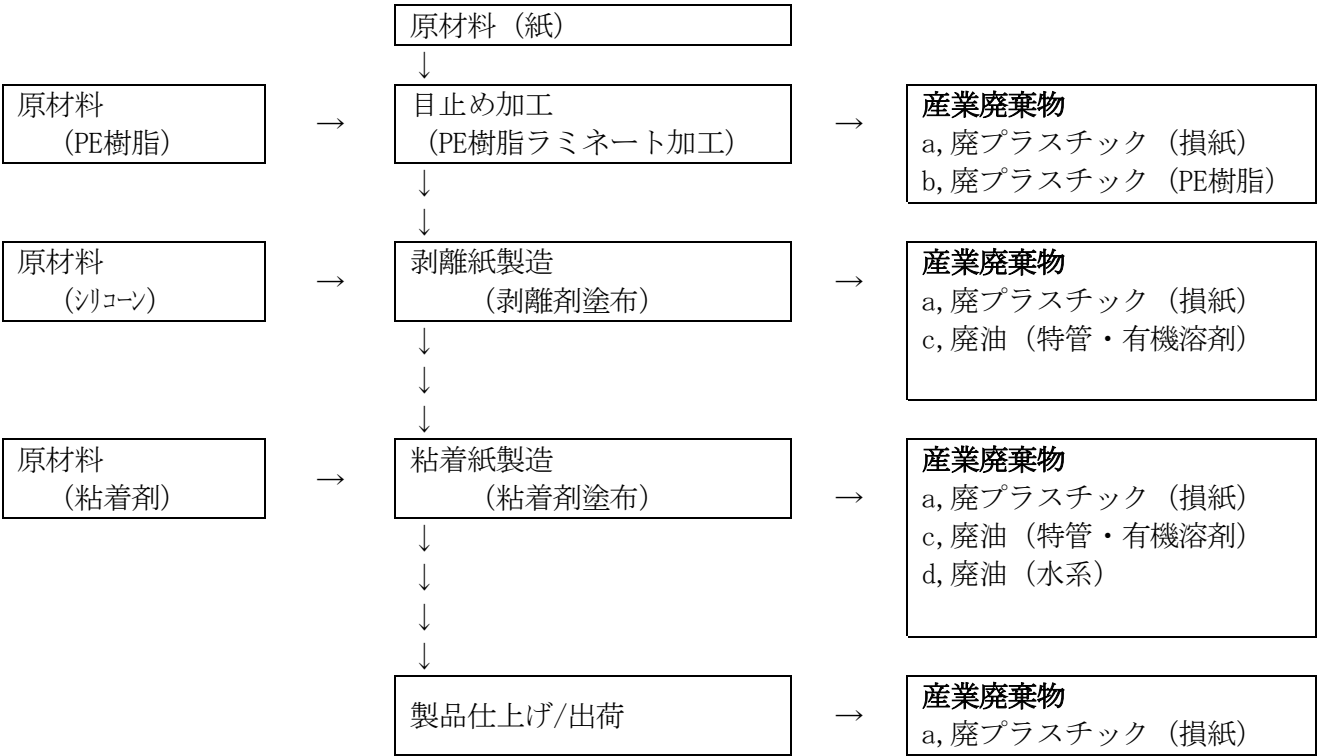
② 計画	【２０２４年度目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	紙くず	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）
	排出量	1,060.25t	232.54t	148.10t	0.00t	98.33t	0.00t	0.10t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項(別紙)

①現状	【前年度（２０２３年度）実績】								
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	廃油	紙くず	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）
	全処理委託量		1,000.24t	219.38t	139.72t	0.00t	92.76t	0.00t	0.09t
		優良認定処理業者への処理委託量	448.09t	219.38t	139.72t	-	92.76t	-	0.09t
		再生利用業者への処理委託量	965.27t	115.10t	139.72t	-	59.43t	-	0.09t
		認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		-	-	-	-	-	-	-	

③ 計画	【 2 0 2 4 年度目標】								
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	廃油	紙くず	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）
	全処理委託量		1,060.25t	232.54t	148.10t	0.00t	98.33t	0.00t	0.10t
		優良認定処理業者への処理委託量	474.98t	232.54t	148.10t	-	98.33t	-	0.10t
		再生利用業者への処理委託量	1,023.19t	122.01t	148.10t	-	63.00t	-	0.10t
		認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		-	-	-	-	-	-	-	

別紙 2



別紙 3

